

「地域ぐるみで環境を守っています！」

— 浜の自然をいつまでも —

小引浦漁業協同組合婦人部
部長 三家 みゆき

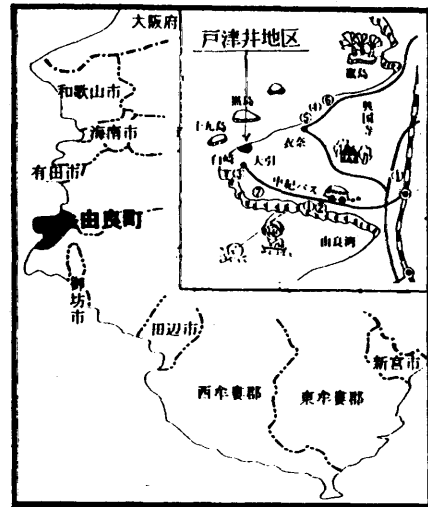
1. 地域と漁業の概況

私達の住む和歌山県日高郡由良町は、紀州路のほぼ中央に位置する漁業と農業の町である。

小引浦漁協は、小引地区と戸津井地区からなり、組合員95名の小さな漁村である。

主な漁種はアジ・サバー本釣り、定置網、タイ養殖で、年間水揚額約1億5千万円である。

漁港関連道路整備事業が進み、平成10年には前浜に橋がかかり様子は一変する予定である。



2. 婦人部の組織及び運営

昭和37年結成。現在部員75名、部長・副部长・会計各1名、4班の構成で、会費1人1千円、年間予算は共同購入手数料等で約30万円程度である。

地区で唯一の集会所である漁村センターを拠点として、年間継続活動は次のとおりである。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ①海をきれいにする運動 | 浜掃除・石鹼普及・廃油利用石鹼と肥料づくり |
| ②豊かなくらしづくり | 生花教室（先生の免許者も育成）・着付教室 |
| ③地区内衛生管理 | 害虫駆除剤共同購入・ゴキブリ団子づくり |
| ④漁村センター清掃 | 地区民の憩いの場所を婦人部員でいつもきれいに |
| ⑤由良町4漁婦連活動 | 総会（漁業の課題を検討）・視察研修・町行事参加 |
| ⑥町内全婦人組織活動 | ふるさと祭り・農山漁村婦人の日・女性のつどい |

3. 活動課題選定の動機

海と山に囲まれた風光明媚で戸数54戸172名の小さな漁村・戸津井はとても穏やかにくらししていたが、10年前頃から釣客が増えそれと共に浜にゴミが目立ってきた。併せて漁港関連道路整備事業が着工されることになり、海岸と地区の環境を守る運動に取り組むことになった。

4. 活動の状況及び成果

(1) 設立以来浜掃除を実施していたが、波止場での磯釣客の増加に伴いエサの残り・空カンビン・残飯等を投げ捨てられ悪臭が漂い、船のロープも手でもてない程の汚れ様になり、このままでは海はゴミ捨て場になってしまう、何とかしなければと話し合い、地区住民の協力を求め毎月一回地区ぐるみで浜掃除を始めることになった。

昭和63年から毎月第三土曜日が不燃物回収日になったので、浜掃除はその前日に実施。缶・瓶は一箇所收拾、燃えるゴミは役員が交代で半日かけて焼却する。部員40名程で朝8時から10時過ぎまでかかります。平日なので勤めに出る部員は参加可能日に出ること

とする。漁協の役員さんも後片付けの協力をしてくれます。

しかし、毎週土曜・日曜日が過ぎると波止場、浜の片隅はゴミ、ゴミ、ゴミの山です。波止場も範囲は広いため掃除が大変になり、町へ依頼し不燃物・可燃物と表示した大きなコンテナを設置してもらったところ、ゴミの收拾は楽になり大変嬉しい思いをしました。でも、それから大変な事が始まりました。入れ物を置けば又それを掃除しなければなりません。「それを誰がする？コンテナなんか置かなければよいのに！」苦情たらたらです。散らばって放置されるよりも片付けは楽だと、数人で自主的にコンテナのゴミ処理を続けました。私達の努力が理解されたのか、昨年から1人増え、2人増えし、今は役員全員で毎週日曜日の夕方2時間かけて、コンテナ掃除と空カン・ビン、荒ゴミを集めています

(2) 次に見えない海底のゴミ処理です。私達には手におえないので漁協に相談を持ち掛け、和歌山市内のダイバー15名に依頼しボランティアで海底を清掃してもらいました。今年も筏の下をお願いしてボンベのガスが切れるまでの条件でしたが、陸揚げされたゴミは山積みになり、またまた後始末は婦人部の役割となり、それが大変な労力でした。都会より田舎の方がボイ捨てが多いのか、大声で「海はゴミ捨て場ではない」と叫びたい思いです。おまけに夜中に釣りに来る時家庭の粗大ゴミを持って来て浜に捨てる人もいます。あたりまえの秩序が守られなくなっています。とても残念な事です。

(3) 自分達の生活を支える大切な海・魚たち、私達の地区では生活排水も大きな汚染原因です。合成洗剤追放運動は全国運動に併せて取り組んできました。最近では、他府県へ嫁いだ娘に送っている・子供のアトピーにとっても良い等と評判で、わかしお石鯰のよさが地区民に見直されています。県漁連の特別推進月間を利用して全戸が共同購入します。

生活排水の中で最も水を汚すと言われている食用廃油。私達は廃油を利用して石鯰と肥料をつくり捨てないよう努めています。又、部員以外の家庭にも配付し、同時に私達の身体と海を守るために「わかしお石鯰」に切り替え合成洗剤を追放しようと啓発しています

(4) この運動は由良町全域から川上へ広げなければなりません。方法として、町内にある四漁協婦人部が一丸となることです。由良町漁婦連総会で申し合わせ、町内全婦人組織で開催する会議・イベント等を利用して協力を働き掛けることにしました。

由良町では町の活性化をねらって、10月「女性のつどい」、11月「ふるさと祭り」2月「農山漁村婦人の日」の行事が開催されます。漁協婦人部・JA婦人会・生活改善友の会・地域婦人会の会員総勢250名～300名の女性が集います。関係団体として漁協・JA・県農業改良普及センター・町産業課等の強力な支援もあり、農・海産物・特産品等の即売会や、農・漁村女性が腕をふるったアイデア料理・手作り加工品等の味交換会等盛り沢山の催しで大変賑ます。この場で私達は何時も「ゴミの適正処理をしましょう」「合成洗剤を追放し天然石鯰を使いましょう」とわかしお石鯰パンフを配布しながら啓発します。ただし、JAや生協に自店用の石鯰製品があるので、購入に便利なものを使うよう奨めます。

5. 波及効果

最近よく地元の漁師さんから「この頃、波止場や浜がきれいになったなあ。わしらも、気付けてるで」と言ってもらえます。とても気持ちがいいです。釣りに来たお客さんも、「暗いのにたいへんやの」と言ってヘッドライトで明るくしてくれる人もいます。一寸した心づかいが嬉しいのと、頑張れば判ってくれるのでやる気がわいてきます。

又、平成10年度道路整備終了に併せて集落排水処理場設置の計画が進められています。地区内の狭い排水道の改修や処理場設置場所等々の問題で地区の説明会がありました。が、「海への排水がきれいになるのなら」と言って反対者なく全戸賛成です。ここにも、私達の努力が認められ意識の改革がされているのだと喜びました。

婦人部活動も、浜掃除を毎月実施し集まる機会が増えたので、地区内の婦人交流が活発化し、活動への参加意識が高まり実践がスムーズに行えるようになり、環境保全への前向きな活動と意見が出るようになってきました。

由良町婦人組織の会議で環境問題が話題になりました。川沿いの人が「大水を利用して家の周りや道路の掃除をすると便利だ、川の水が全部洗い流してくれる」と発言がありました。思わず「海へ流れる」と反論すると、会場から拍手があり、私達の活動が少しずつ浸透しているのだと感じ勇気がわいてきました。又、他の婦人組織と合同の会議に参加をきらっていた部員も、お互いの活動を理解しあえる・いろいろ勉強になると言って出席してくれるようになりました。農山漁村婦人の日など楽しみにするようになりました。

6. 今後の課題

前浜に橋がかかり道路整備が終了すれば、小さな漁村から素晴らしい景観美を持ったレジャー地に必ず変貌します。すでに公衆トイレの設置計画があります。海水客やダイバーも多くなります。私達の暮らし向きも変わるでしょう。今こそ正念場です。

まず、公衆トイレの掃除問題です。地元住民である私達の役割になるでしょう。車の増加が目に見えます、事故防止策がいります、駐車場の設置と管理者も必要になります。子供が安心して遊べる場所の確保も大切です。そして、なにより磯根資源の保護対策です。

今後とも漁業資源の保全、海浜・集落の自然をまもり地区の健全な発展について、漁協を中心にまとまりのよい地区住民とともに後継者のために活動を続ける所存です。

(1) 婦人部組織

部員数 75名 (実部員45名)

	1班	10名
部長 1名	2班	12名
副部長 1名	3班	10名
会計 1名	4班	13名

(2) 運営状況

収入 305,000円

会費 45,000

助成金 0

手数料等 265,000

支出 305,000円

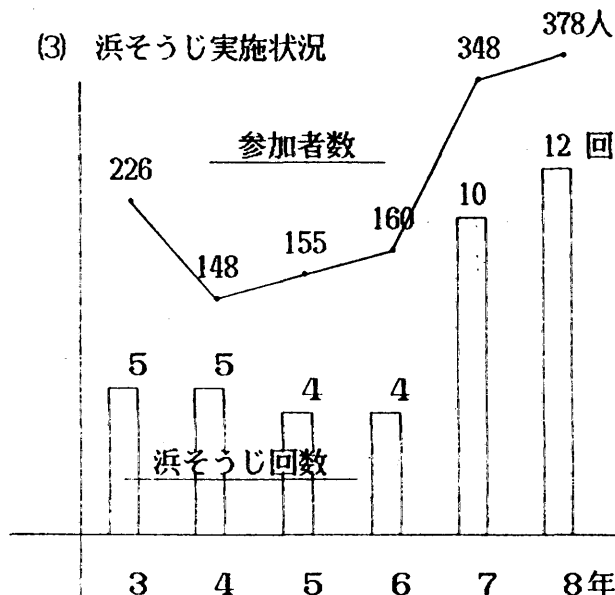
視察研修 230,000

材料費 30,000

負担金 20,000

諸費 25,000

(3) 浜そうじ実施状況



(4) わかしお粉石けん使用量

年	3	4	5	6	7	8
箱	168	152	120	120	124	205

活性化した活動状況

活動テーマ	平成4年度	平成8年度
環境保全活動	<p>(1) 海をきれいにする運動 浜掃除 空カン・ビン回収 ごみ焼却 4年 4月15日 46名 5月14日 7名 8月7日 49名 10月16日 8名 12月17日 38名</p> <p>7月 わかしお石けん特別普及月間 戸別に共同購入 152箱</p> <p>(2) 使い古るし天ぶら油の利用 石けんづくり 10月27日 9名</p>	<p>(1) 海をきれいにする運動 毎月1回 浜掃除 空カン・ビン回収 ごみ焼却 8年 4月19日 45名 5月18日 38名 6月21日 38名 7月19日 36名 8月16日 38名 9月20日 38名 10月17日 35名 11月21日 38名 12月19日 35名</p> <p>7月 わかしお石けん特別普及月間 共同購入 粉石けん 205箱</p> <p>(2) 使い古るし天ぶら油の利用 石けんづくり 5月, 1月 延72名 肥料づくり 5月, 1月 延72名 地区内全戸へ配付</p> <p>(3) 漁村センター及び周辺掃除 浜掃除終了後に実施</p>
魚食普及		<p>(1) 地元産魚を使った料理教室 5月22日 12名</p> <p>(2) イベント等で即売会 10月16日 女性のつどい 7名 11月3日 ふるさと祭り 8名 2月22日 農山漁村婦人の日(祝) 出品 鯛船盛 イカ・アジさしみ 実績発表体験報告</p>
くらしの改善	<p>(1) いけ花教室 毎月第一水曜日 会員12名</p> <p>(2) テーブルマナー講習会 11月11日 3名</p>	<p>(1) いけ花教室 毎月第一水曜日 会員12名</p> <p>(2) 着物学園による着付け教室 毎月第一木曜日 会員 4名</p> <p>(3) 防災予防対策 婦人消防隊訓練・地震体験なまず号 7月14日 20名+子供</p>
健康管理	<p>(1) ごきぶり団子づくり 4月19日 18名</p>	<p>(1) 成人病予防食事の料理教室 5月3日 23名</p> <p>(2) ごきぶり団子をつくり全戸へ配付 4月 9月 24名</p> <p>(3) 集団健康診断 胃・成人病検診 5月13日 11名</p>
女性の ネットワーク 親睦等	<p>(1) 由良町ふるさと祭り 11月 3日 4名</p>	<p>(1) 由良町合同敬老の日バス送迎 9月6日 3名</p> <p>(2) 由良町全婦人組織 女性のつどい 10月16日 7名</p> <p>(3) 由良町農山漁村婦人の日交流会 2月22日 5名参加予定</p> <p>(4) 由良町4漁婦連滋賀県へ視察研修 10月27日 7名</p> <p>(5) 漁協・婦人部合同視察旅行 九州へ11月 2泊3日 全76名</p>